

2022年7月28日

和歌山県知事  
仁坂 吉伸 様

日本共産党和歌山県議団  
団 長 奥村 規子  
幹事長 高田 由一  
楠本 文郎  
杉山 俊雄

## 新型コロナウイルス感染症に関する緊急申し入れ(第10次)



新型コロナウイルス感染症による第7波の感染拡大が続いています。高齢者などにも感染が広がり、死者が続くなど予断を許さない状況です。これ以上、亡くなる方を増やさないためにも、以下の取り組みについて緊急に申し入れるものです。

1. 第7波における入院に関する和歌山県の方針を示されたい。
2. 高齢者等への感染を防ぐため、高齢者施設等での頻回の検査が行えるよう、県として抗原検査キットの配布などをさらに進めること。  
また、同様に学校、保育所などクラスターが多発している事業所への配布も進めること。
3. 一般検査事業の無料検査体制を県の責任で抜本的に強化すること。特に有田市以南の体制を充実させること。その際、働く世代が検査を受けやすいよう、平日の夜間や休日も実施できるようにすること。  
当面の対策として、県民全員に抗原検査キットの配布、活用をすること。また、県外からの来県者も利用できるようにすること。
4. コロナ非対応の医療機関や介護施設などで、入所者にコロナ患者が出た場合、やむなくその施設に留まっている件数を明らかにされたい。そうした場合、一般医療の休止など影

響が大きく、財政支援も含め人的支援など特別の対策を取ること。

5. 医療従事者、介護職員、福祉職員などが業務を続けるために行う検査は、全額公費で負担するようにされたい。
6. 診療・検査医療機関を増やすとともに、財政的な支援を強めること。
7. 新型コロナで自宅療養する場合の対応について以下の点を改善されたい。
  - ・自宅療養のための支援物資については同居家族分も含めるとともに、速やかに届くようにすること。
  - ・同居家族(濃厚接触者)への検査を行わない方針だが、せめて家族分の抗原検査キットを届けるようにされたい。
  - ・電話による医師の健康観察体制を強化されたい。
8. 宿泊療養施設をさらに増やされたい。
9. 現時点では新型コロナへの特効薬もないなかで、感染症2類相当の位置づけを変更しないよう国に求めること。

以上